

アウクスブルク市にある日本、尼崎市にあるドイツ

松本 明大

はじめに

去年の夏、イギリスに行った時、フランス人の友達がいきなり私に向かって「かめはめ波」と言いながら襲い掛かってきた。私が突然すぎてひるんでいると、次は「千鳥」(漫画 NARUTO での必殺技)と言いながら地面に手のひらを向けて溜めポーズをとっていた。この後、私が千鳥の餌食になったのは言うまでもないが、日本の漫画がここまで外国人に人気があるのかと驚いた。その経験から今回のアウクスブルクでの研究テーマはアウクスブルク市でどんな日本のものが人気なのか調べてみることにした。なかなかこれだけだと厳しかったので尼崎市にあるドイツのものを少しだけ個人的な願望も交えて紹介したいと思う。少しでもあなたがドイツ人の友達と話をするときのネタにでもなれば幸いである。

漫画

最近日本の漫画が海外で人気ということはみなさんもお存じのことだろうが、僕自身テレビなどで見て聞いてはいたものの実際にドイツでも人気なのかは行ってみないとわからない。そこでアウクスブルク市に行き、実際に日本の漫画が置いてあるのか調べてみることにした。今回本屋に寄る時間がなかったのでアウクスブルク市図書館での調査になった。「なるほど、めっちゃある!!」コナン、犬夜叉、らんま 1/2、One

Piece、NARUTO などなど日本の漫画がいっぱい置いてある。ここでは、ゲームソフトも借りることができるのだが、Wii のソフトがたくさんあり、Final Fantasy やソニック、One Piece などの日本のソフトがあった。日本で作られた Wii がドイツでも楽しまれているのは明白である。ちなみに、ホストマザーも大の日本の漫画のファンで、進撃の巨人やエヴァンゲリオン、それぞれ One piece、NARUTO が好きだと言っていた。アニメの日本語のオープニングソングを歌ってくれたり、毎朝「おはよう」と言ってくれたり、日本語が上達するくらい好きだということが伝わってきた。



図書館内の様子



図書館に置いてある漫画

Hokkaido

ドイツでよく見かけるのが、カボチャである。たくさん種類があるのだが、その中でひときわ目を引く名前があった。

「Hokkaido」である。読んで字のごとく北海道だ。何か日本と関係があるのかと思って、ためしにホストファミリーに聞いてみたが、日本に北海道という名前の地名があることにびっくりしていた。ネットで調べると北海道でこのカボチャが作られるようになったのは、江戸時代にアメリカの圧力によって、作付けされるようになったとか、1878年にアメリカの農業コンサルタントが北海道に来て、硬くて味の薄い Hubbard 種から栗かぼちゃを栽培した(品種改良的なことだと思う)など諸説あるらしい。ヨーロッパにきたのは、1990年代とのこと。ミュンヘン辺りに住んでいる日本人が北海道の品種を日本から取り寄せて BIO 農家(有機農家)の友人と生産を手掛けたのが始まりである。当時のドイツにあったカボチャは最初の年には3トン、BIO 農家の問屋におろし、翌年には5トン、あまりにおいしいので消費者も生産者も思わず食いついたのだとか。今では、ドイツで食用カボチャとしてスーパーなどに普通に並べられているくらい日常的になっている。実際にアウクスブルクのマーケットでもたくさん置いてあったし、ホストファミリーの Schrebergarten(小農園)の近くにも山積みで売られていた。日本人から見ると違和感があるくらい日本語なのに、ドイツで日本語と認識されることなく平然と Hokkaido という名前で売られているのが面白いなあと考えた。



Hokkaido

寿司

日本の代表的な料理といえば、寿司である。色々なテレビでも外国の人達に人気がある食べ物。ホストファミリーに聞いたドイツで人気の日本のものは何か聞くと一番初めに出てきた言葉も寿司だった。アウクスブルクのマーケット内にも「さくら」という日本料理屋さんがあり、メニューの中に寿司があった。焼き鳥、餃子、うどん、天井と他にもラインナップされている。シティーギャラリーにも「東京寿司」という寿司屋さんがあった。その店の前に回転ずしのベルトコンベアのようなものがあり、ここにも寿司屋があるのかと思ったら回っているのはお惣菜的なものだった。どうやら回転ずしのベルトコンベアまでドイツで人気があるらしい。さらに、スーパー等で使われているような寿司プレートにスイーツが入れてあるものまであった。寿司関連のものは食べ物だけに限らず何かと好かれているらしい。

まあ、好きかどうかは置いてシャリの上に魚の身を置く寿司のスタイル、その寿司をわざわざ足を運ばずにお客さんの前に出す回転ずしのアイデア、ほこりなどが入りにくく、液漏れなどに強い寿司トレイは日本独特のものであるのでドイツでも魅

力的であることがわかった。日本独自のものが海外で認められている気がして、日本人として、少し誇らしく思った。



ベルトコンベア

の味だった。量り売りだったので、ちょっと買って帰ったらよかったと今になって後悔している。



わさびチーズ



さくら

わさび

寿司はやっぱりわさび入りである、ワサビ抜きなんてあり得ない。ドイツでもわさびは好んで食べられている。私が出会ったのはわさびチーズ(写真はいメージです。)だった。ホストファミリーと買い物に行った時に緑のチーズがあるなあと思っていたら、ホストファミリーが Wasabi と言って、試食をお願いしてくれた。うん、悪くない。わさび特有の辛さと鼻に抜ける感じ。すごくおいしいとは言わないけど普通においしい！今思えば、お酒のおつまみにピッタリ

ハリボー

ドイツといったらハリボー。もちろん、お土産で買ったが、普通に日本にも売っている。でもやっぱり本場ドイツの味は違うだろうと食べてみるけど、ハリボーはハリボー。やっぱりどの国でも味が変わらないっていいよね。ちなみに日本のハリボーはドイツのよりかなり価格が高い。ハリボー好きの人はドイツで爆買いすることをおすすめします。

ドイツ料理

尼崎でドイツ料理店ないかなと検索してみたら、まさかの該当件数 0。ぐるなび、食べログ、ヒトサラ、Retty、ホットペッパー、私の知っている検索サイトを全部調べてみたけど無かった。いやぁ、やっぱり三ノ宮とか大阪にしか無いのかなぁ。よし、三宮で調べてみるか。と調べたら、なんと検索結果 2 件。一つはステーキの店でメニューを見たけど、あっとなるものがなくてあまりぱっとしなかった。もう一つはカリ

ーブルストの店だった。大阪も検索してみると 20 件くらいあった。ソーセージは割とあるけど、俺が食べたいドイツ料理じゃないねんなぁ。クヌーデルとザワーブラーテンと一緒に出てくるもの、シュニツェル、名前がわからないけどシュベッツレチーズと野菜の上に二種類の牛肉のった料理とかが食べたい。「ちょっと本真に尼崎市にドイツ料理屋さん作ってほしいです。」ってか、作りましょう。アウクスブルクと共同でお願いします。



名前がわからなかった料理

さいごに

いかがだったでしょうか。少しテーマに沿えてないような気もしたが、それはそれでよしとした。この文を読んでいる間にも色々な日本のものがドイツに渡っているかもしれないし、尼崎市にはドイツ料理屋が出来ているかもしれない。私がアウクスブルクで見つけたものはこのくらいであったがまだまだ見つけれられてないものがたくさんあると思う。次はあなたが現地に行って、あなたの目で確かめてみてもらいたい。旅の幸運を祈ります。

参考資料

<http://blogs.yahoo.co.jp/dcbaha/69256506.html>

http://blogs.yahoo.co.jp/ken_taroii/33712625.html

<https://de.wikipedia.org/wiki/Hokkaidok%C3%BCrbis>

<http://ameblo.jp/zero-mammy/entry-10158184944.html>